

本人と家族のはたらくについて

特定非営利活動法人北海道若年認知症の人と家族の会
(NPO法人北海道ひまわりの会)

副理事長 森林 美恵子



- 若年認知症とは
65歳未満で発症する認知症の総称です
- 主な原因疾患は
 - アルツハイマー型認知症
 - 血管性認知症
 - 前頭側頭型認知症
 - レビー小体型認知症など治るタイプの認知症もあります

○ 若年認知症の方が置かれている現状

①働き盛りの方に発症

→ 就労の継続、世帯の経済的問題に直面

(仕事をしていた人のうち7割以上が退職又は解雇)

②介護が配偶者に集中

→ 親の介護、家事・育児・仕事の継続

③子どもへの心理的影響が大きい

NPO法人北海道ひまわりの会の主な活動

つどい

奇数月

女性介護者 … 偶数月
男性介護者 … 随時
本人つどい

相談

火・水・木 (10~15時)
電話・面談・訪問・メール

会報

「ひまわり通信」
偶数月に発行
定例アンケート

サロン

お茶会 … 随時
もくようサロン

理解促進の取組み

冊子作製・研修会
体験発表・他

ひまわり塾

随時 … 木曜日

家族教室

病気・制度・介護
年1~2回

関係機関との連携

全国若年認知症協議会・ほか
北海道認知症の人を支える会

若年認知症の
親と関わる
子ども世代の
つどい
nanmo

北海道若年性認知症総合支援事業受託 2022年~



NPO法人北海道ひまわりの会の活動

理解促進の取組み

冊子作製・研修会
体験発表・他



nanmo Aさんより

- 始めの頃父の病気については関心も無く、ただ父の言動に一マイライラし、父と母の言い争いには、いつか我家が介護殺人の当事者家族になってしまうのではないかと心配しながらも、自分は早朝から深夜まで会社で仕事をしていました。
- 父が脳梗塞で倒れICUに運ばれてから退院までの間に、自分の父への対応を後悔し、今度は認知症の父と向き合いたいと思い10年務めた会社を辞め、介護の世界に入りました。父が通うデイサービスに勤務し、仕事でも家でも父と一緒に過ごして一番楽しく過ごせました。
- 父の食事介助（経鼻栄養）、オムツ介助、体位交換、喀痰吸引、清拭などをしながら仕事を続けました。体調悪化により入院となりましたが、父が家に帰りたと言った言葉を叶えたく、自宅での介護を再開し見送ることが出来ました。この時期にnanmoの皆と出会えていたら、たくさん話せたのに…

当事者を支援する

1. 本人の「働く」・「はたらく」を支援する
2. 介護者の「働く」と自分らしく生きたいを支援する
3. 子ども世代の自分らしい生き方を応援する

○ 活動で重要なこと

不安を抱えて、相談に来る家族が孤立しないよう

- 仲間がいる
- 安心して相談できる場がある
- 相談に極力応える
(経済的不安に対しては、使える制度の紹介)
- 一歩踏み出せない方には、同行支援
- 少しでも前向きになれる

○ 心がけていること

当事者ととともに悩み、解決に向けて
いっしょに努力する



当事者が前を向いていけるようになることが
相談員としての喜び

診断後に落ち込むことはあるけれど
少しでも希望を見いだせるような支援を

NPO法人 北海道若年認知症の人と家族の会

若年認知症でお悩みの方、共に家族会で
気軽に相談やお話をしませんか？
若年認知症の人を支えている医療や福祉の
皆様も家族会にご参加・ご協力を！

ご静聴ありがとうございました。